

## 修了評価の方法

評価基準作成者：小柳 一幸

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 「(2) 介護における尊厳の語群・自立支援」から「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</li></ul> <p>2 出題形式</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 五肢択一形式及び語群選択形式とする。</li></ul> <p>3 出題数</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ Aパターン 100点満点 五肢択一 7問 (1問10点) 計 70点 語群選択 3問 (穴埋め箇所 15 1箇所2点) 計 30点</li><li>・ Bパターン 100点満点 五肢択一 8問 (1問10点) 計 80点 語群選択 2問 (穴埋め箇所 10 1箇所2点) 計 20点</li></ul> <p>4 合否判定基準</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 60点以上で合格。60点に満たない場合、不合格</li></ul> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 結果発表後、当日に1時間の補習のうえ再評価を行う。 再評価不合格の場合、個別補習の上、5回まで再び評価を行う。 補習料：0円 再評価0円</li></ul>
------------	--